

第 419 回集談会

1. 日時：2010 年 9 月 27 日（月）16:30～
2. 場所：2A 講義棟（中央棟 2 階）
3. 座長：臨床薬剤学 講師 岸川幸生先生（内線4410）
4. 演者：医薬情報科学 助教 川上準子先生（内線4403）
5. 演題：「データマイニング手法を用いた副作用情報のビジュアル化と解析」
6. 要旨：医療用医薬品添付文書(PI)やインタビューフォーム(IF)などの医薬品情報源や現在の医薬品情報データベースは、文字・数字情報が中心である。そのため、たとえば、多くの同効薬の医薬品情報(DI)に関する全体像や医薬品間での違いを個々に把握することは容易ではない。そこで医薬品情報をビジュアル化すれば、短時間に多くの情報を得ることができ、現場の医療従事者の負担を軽減することができる。さらに、ある程度総合的な把握や比較が容易になるので、患者の QOL の向上にも役立つ可能性が期待できる。

ここ数年当研究室では、医薬品情報のビジュアル化として、抗菌薬 MIC（最小発育阻止濃度）情報のサークル図や多剤処方での副作用重複のビジュアル情報、PI の副作用項目から収集した副作用情報の自己組織化マップ(SOM)などを作成し、DI の解析や医療現場へのビジュアル情報提供を進めている。

本集談会では、抗菌薬と降圧薬の副作用情報 SOM(薬局 2010 年 2 月号-3 月号, 医薬ジャーナル 2010 年 7 月号掲載)と現在解析を行っている抗不整脈薬の SOM について紹介する。